## 会議録: 令和3年度 第6回 運営推進会議(せとうちの郷)

- 日 時 令和4年3月25日(金)10:30~12:00
  - 1.事業状況について
  - 2.事故、ヒヤリ・ハットの報告について
  - 3.藤花会 事例検討会報告について
  - 4.藤花会 SDGs 取り組みについて
- 議 題 5.『小規模多機能ホームせとうちの郷 サービス評価』
  - 6.令和3年度 行事報告
  - 7.令和4年度 運営推進会議活動について
  - 8.ご利用者の様子について
  - 9.ご意見等

## ■ 内 容:

1. 事業状況について

事業所毎に稼働状況が報告された。

「短期」R4.年2月稼働減は新規利用減も要因のひとつだが3月より新規利用有増。

「特養」R4年1月実績は入院0により稼働100%となった。

「小規模」R4年2月は登録者の施設入所等により登録数減少した。3月より新規登録有。

2. 事故、ヒヤリ・ハットの報告について

事業所毎に事故の発生状況について報告された。

質問:「内出血」の事故カウントは「打撲」や「外傷」と被っているのか?

回答::被っていない。顕著な圧等が認められず発生している内出血の事例をカウントしている」

3. 藤花会 事例検討会の報告について

藤花会 事例検討会 第一位となった 特養せとうちの郷「enjoy one's work ~働きやすい職場へ」が会議内で発表された。

## (感想等)

- - →職員が離職しないためにどうすれば良いのかを考えた。こうした取り組みを法人全体にも広げたい。
- ・「私は福祉移送の事業を行っている。職員はケースワーカーという名称がついても専門性が確立して いるわけではない。「せとうちの郷」の職員採用では有資格者等はどのような状況なのか?」
  - →専門教育を修了したケースや全く介護が初めてのケース等様々である。今春の藤花会の実績では 国立大をはじめ新卒では4名が採用できた。
- ・「この事例は他の職務分野でも参考になる。私も新人時代には人によって教え方が違ったり、先輩に 教えてもらうのに声を掛けにくかったりした。担当者以外の職員はどのように関わったのか?」
- →誰が指導しても良いように職員間での共有がしっかりと行われた。担当者も先輩が指導する姿をみて

学んだものも多かった。 4. 藤花会 SDGs の取り組みについて ·令和3年12月「おかやまSDGsアワード2021」表彰 県内エントリー60法人のうち4社が採用され、その1つが藤花会となる。 ・健活企業 障がい者雇用等にも積極的に取り組み、ハローワーク岡山からも評価をいただいている。 ・昨今は教育機会によって中高生の SDGs についての認識も高くなっている。 5.「小規模多機能ホームせとうちの郷 サービス評価」 ・前年度の評価数値を標記し、評価者が作業時に比べやすくしている。 自己評価の内容についてはコロナ禍の社会的制約による影響も認められる。 ・「訪問」実績は多く、地域における在宅支援を増進している。 等自己評価内容における説明がされる。 会議参加者による評価作業が実施される。 6. 令和3年度行事報告 資料により説明。質問なく承認される。 7. 令和4年度運営推進会議活動について 9月の開催日程について通例日が祭日となるため9月30日となっている。 「地域防災」「成年後見人制度」「地域包括支援センター」等地域に関するテーマを予定。 質問なく承認される。 8. ご利用者様の様子について 広報誌2月号・3月号による説明。質問なく承認される。 9. ご意見等 東区地域包括支援センターより案内 「岡山市認知症高齢者見守り事業」「西大寺中学校区 長沼いきいきサロン」「認知症サポーター養成講座」 西大寺公民館より案内 令和3年7月よりロビーで「もも太郎体操」開始。誰でも参加でき当初7名から現在25名となっている。 事務局 会議開始を 10:30 からとしているが参加者の方の都合等では 10:00 からが良いだろうか? →会議参加者から「どちらでも支障はない」との回答を得る。

次回開催:令和4年5月27日(金)10:30~11:30 場所:せとうちの郷 地域交流ホール